

令和2年度版

当別町農林業の動向

当 別 町

目 次

令和2年度版 当別町農林業の動向

	ページ数
1 耕地面積	1
2 農家戸数、認定農業者、認定新規就農者数及び 農地所有適格法人数	2
3 水稲作付面積及び転作実施面積	3～4
4 水稲作付面積	
(1) 品種別	5
(2) 用途別	6
5 米の等級別出荷数量実績	7
6 小麦作付面積（春秋別）	8
7 転作作物（野菜部門）の作付面積	9
8 花き生産の概要	
(1) 主要品目の出荷数量	10
(2) 主要品目の販売額	11
9 家畜飼養状況	12～13
10 農業産出額の状況（農林水産省推計値）	14
11 鳥獣被害の状況	15～16
12 民有林資源構成表	17
13 森林面積及び蓄積	17

当別町の紹介



当別町の始まりは、明治4年、仙台藩岩出山の領主・伊達邦直公が家臣共々移住し、苦難の開拓の歴史を経て、明治35年頃には札幌支庁管内（当時）で最も豊かな農村へと発展し、農業を基幹産業とした本町の礎が築されました。

現在、当別町は北海道最大の都市札幌市に隣接し、札幌都心部からJRで約35分、車で約45分とアクセスに優れ、札幌への通勤通学圏内であると同時に石狩湾新港と新千歳空港を結ぶ国道337号と、道北方面に通じる国道275号が交差する交通の要衝でもあります。

当別町の行政面積は42,286haとなっています。令和元年度の耕地面積は、8,520haと約20%を占めています。

当別町の大地は、豊かな水と石狩平野の一部という恵まれた土地条件を生かした水田・畑作や花卉を中心とする農業を展開しているのが特徴です。

1 耕地面積

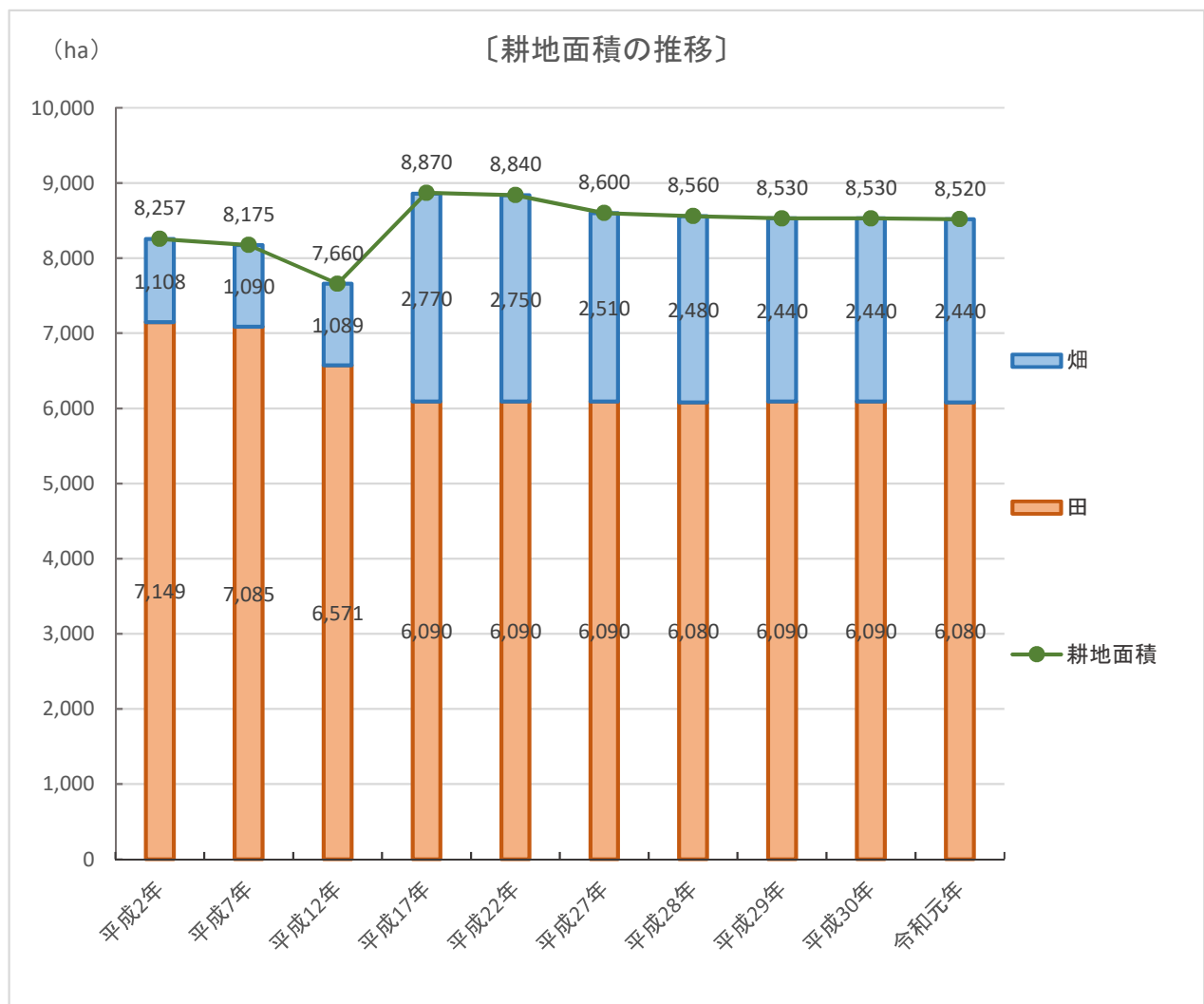
単位: ha

年度 区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
耕地面積	8,257	8,175	7,660	8,870	8,840	8,600	8,560	8,530	8,530	8,520
田	7,149	7,085	6,571	6,090	6,090	6,090	6,080	6,090	6,090	6,080
畑	1,108	1,090	1,089	2,770	2,750	2,510	2,480	2,440	2,440	2,440

資料: 農林水産統計年報 平成2年度: 農林業センサス 平成4年~平成12年度: 農業基本調査

畑: 普通畑、樹園地、牧草畑

※数値は、端数処理のため、合計と内訳の計が一致しないことがあります。



当別町の耕地面積は8,520haで、そのうち70%は田となっています。

2 農家戸数、認定農業者、認定新規就農者数及び農地所有適格法人数

(1) 農家戸数及び農家1戸当り耕地面積

単位：戸・ha

年度	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
戸数	1,264	1,092	947	795	635	554	528	506	498	483
農家1戸当り 耕地面積	6.5	7.5	8.1	11.2	13.9	15.5	16.2	16.9	17.1	17.6

資料 平成22、27年度については農林業センサス、それ以外の年は町農務課

(2) 認定農業者数及び認定新規就農者数

単位：戸・人

年度	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
認定農業者			12	355	376	376	371	371	346	335
うち法人			3	33	41	40	43	40	39	40
うち女性			0	11	7	11	11	9	6	9
うち共同				14	53	61	59	52	53	46
認定新規 就農者数	—	—	—	2	3	6	10	10	8	7

資料 町農務課

※農業経営基盤強化促進法に基づく認定新規就農者数(認定期間:5か年の延べ人数)

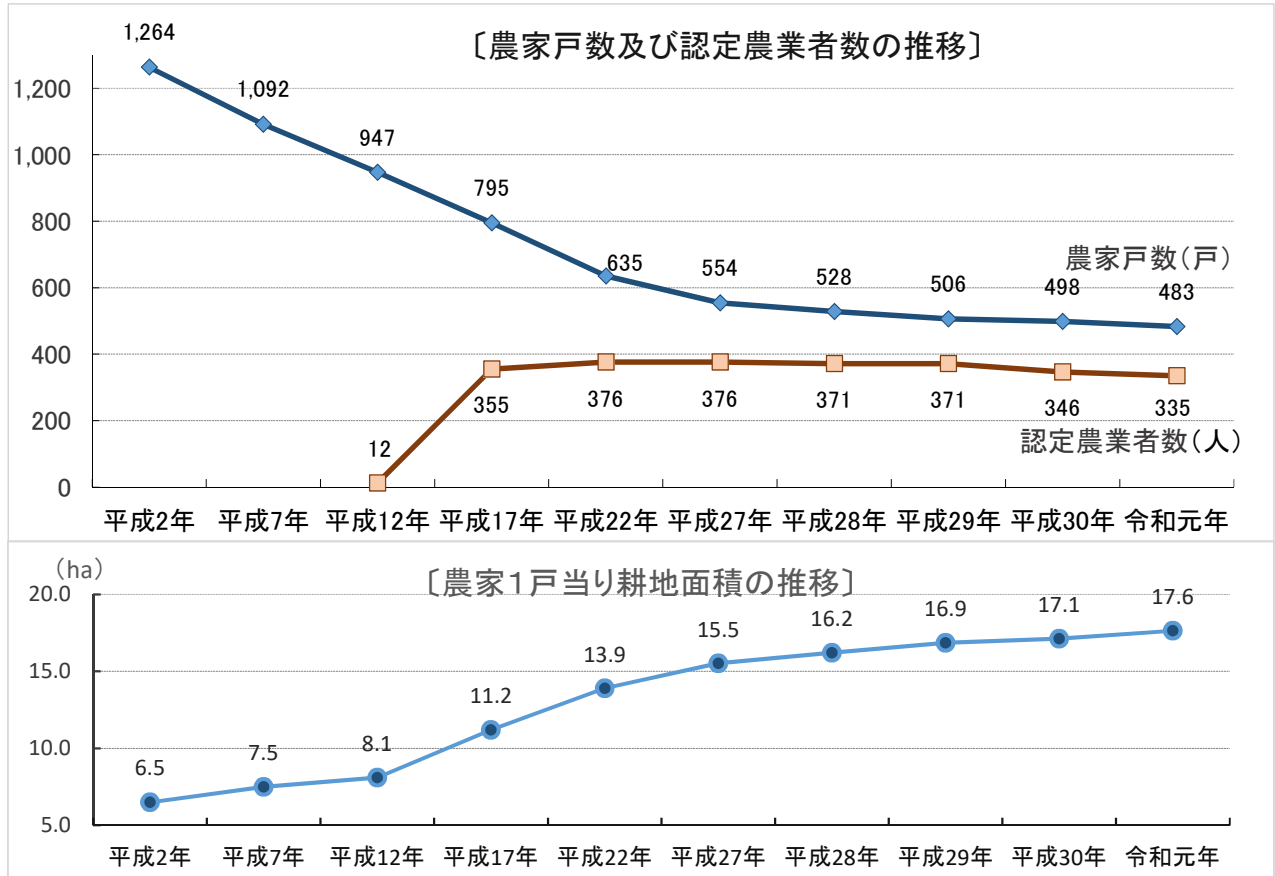
※空白はデータなし

(3) 農地所有適格法人数

年度	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
農地所有適格法人	—	—	—	—	—	—	43	44	44	46

資料 町農務課

※農地所有適格法人は、平成28年4月1日施行の改正農地法に基づき定義された。



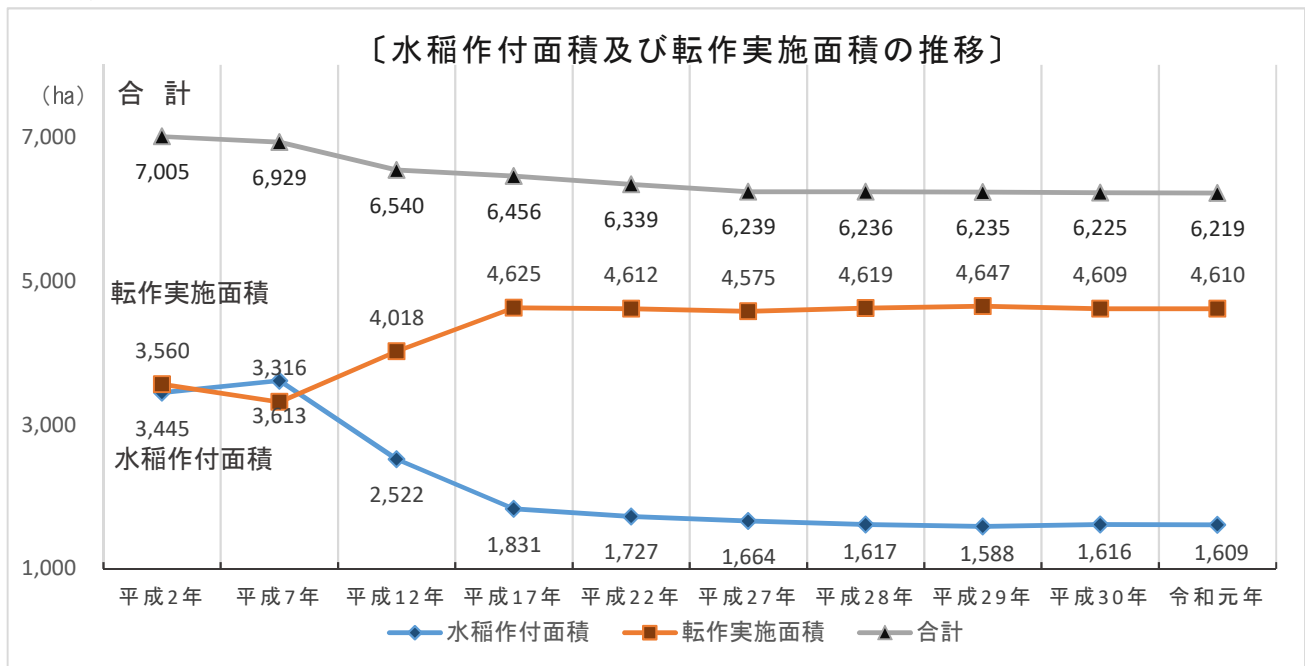
当別町の農家戸数は減少傾向にあり、令和元年度483戸となっています。このうち認定農業者は、335戸と微減
また、農家1戸当たりの耕地面積は、令和元年度17.6haと平成12年度の2倍以上となっています。

3 水稲作付面積及び転作実施面積

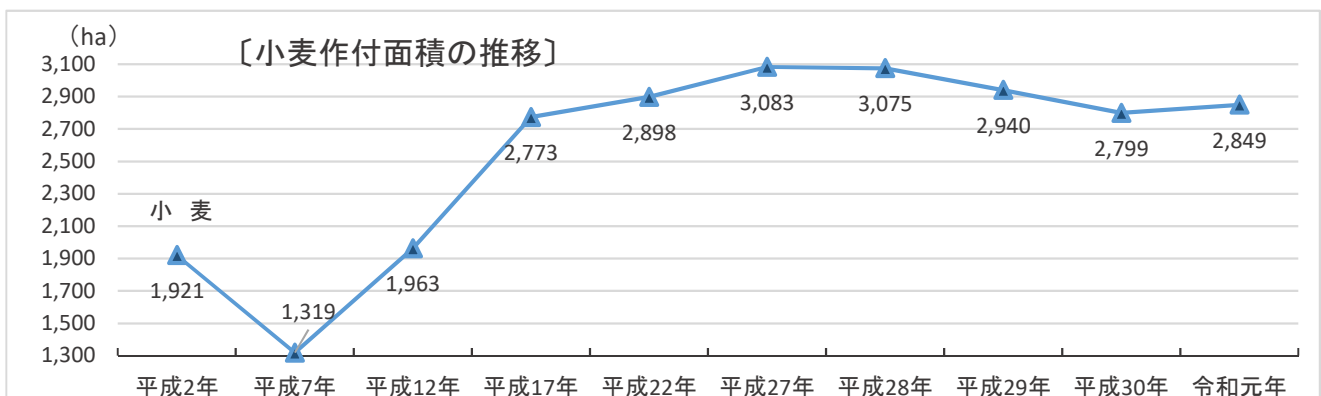
単位:ha

区分 年度	水稲作付面積		転作実施面積	転作作付面積内訳(新規需要米等を除く)								
		うち主食用		小麦	大豆	小豆	てん菜	野菜	花き	牧草等	子実とうもろこし	その他
平成2年	3,445	-	3,560	1,921	347	394	3		33	696		166
平成7年	3,613	-	3,316	1,319	278	531	47		69	731		341
平成12年	2,522	-	4,018	1,963	485	483	31		78	637		341
平成17年	1,831	1,831	4,625	2,773	426	489	35	129	71	622		79
平成22年	1,727	1,722	4,612	2,898	493	265	48	248	83	535		42
平成27年	1,664	1,537	4,575	3,083	461	71	37	190	71	614		48
平成28年	1,617	1,556	4,619	3,075	485	50	37	216	72	643		40
平成29年	1,588	1,547	4,647	2,940	544	47	63	247	74	647	20	65
平成30年	1,616	1,564	4,609	2,799	576	58	63	277	74	660	40	63
令和元年	1,609	1,542	4,610	2,849	509	63	50	289	69	667	48	67

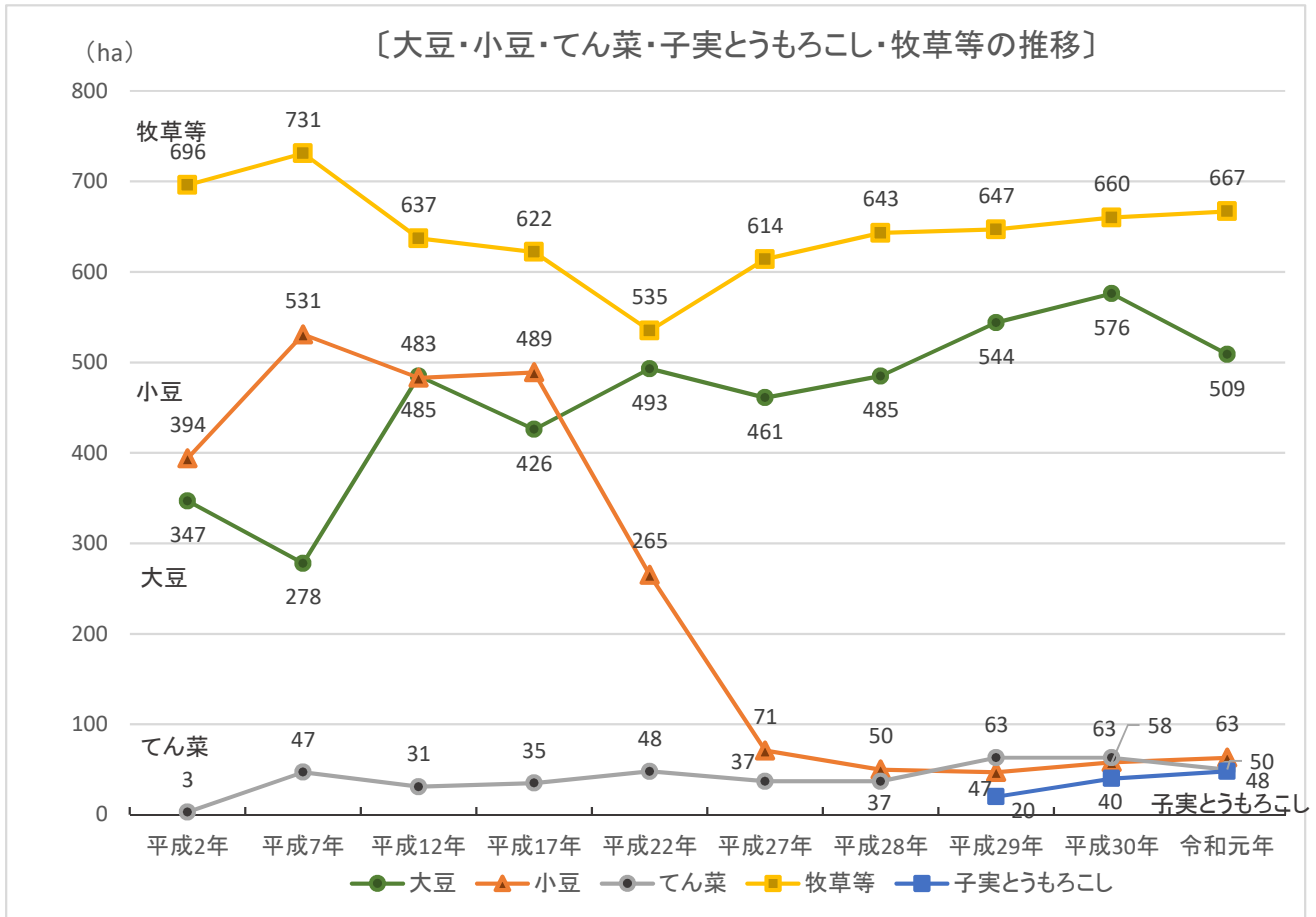
資料:町農務課 ※空白はデータなし



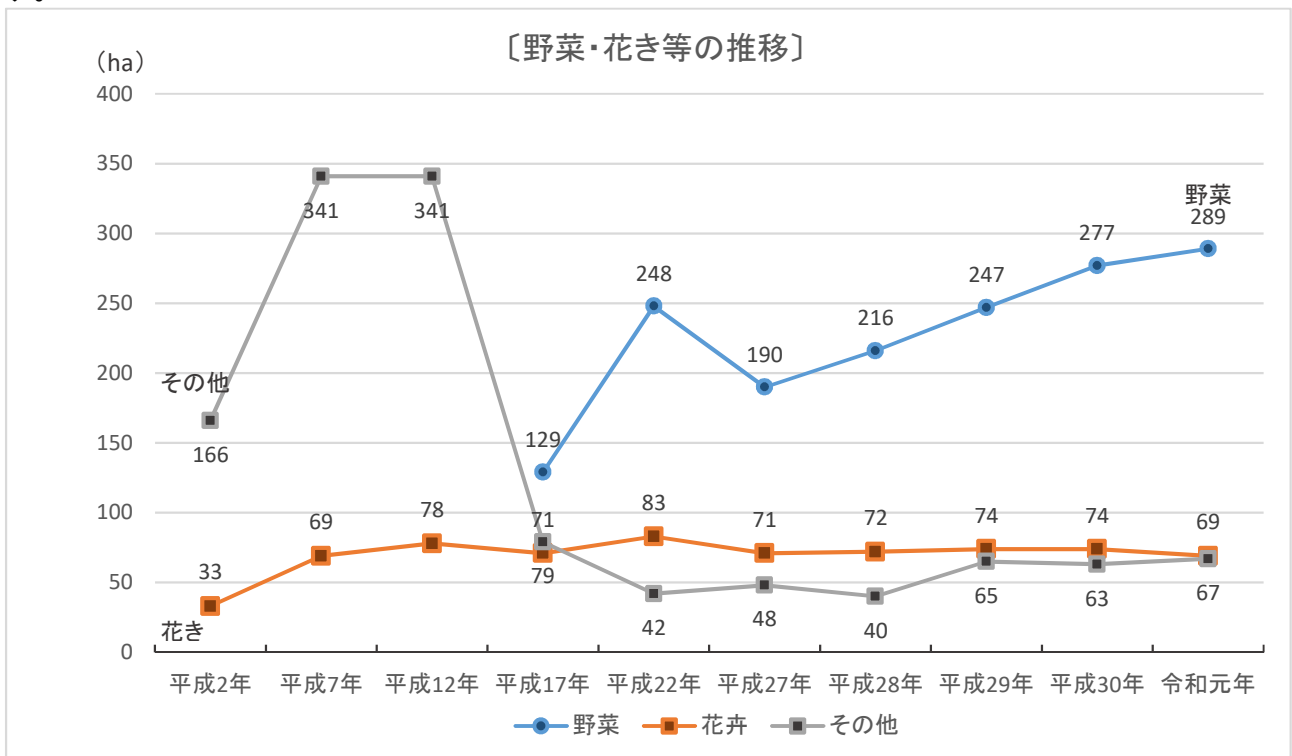
当別町の転作実施面積は、平成17年度以降約4,600haとなっています。



当別町の転作実施面積のうち小麦作付面積は、平成27年度から若干の減少となっています。



当別町の転作作付面積のうち、牧草等と子実とうもろこしは増加傾向にあり、この10年間に大豆はほぼ横ばい状態となっています。
 小豆の作付面積は、平成27年度まで減少傾向にありましたが、平成28年度以降は、横ばい状態となっています。



また、野菜の作付面積のデータは平成17年度からで、おおむね増加傾向となっています。
 この要因の一つは、かぼちゃ、ブロッコリー、キャベツの作付面積が増加傾向となっています。
 花きの面積の算定方法は、平成27年度から変更となっています。

4 水稻作付面積

(1) 品種別

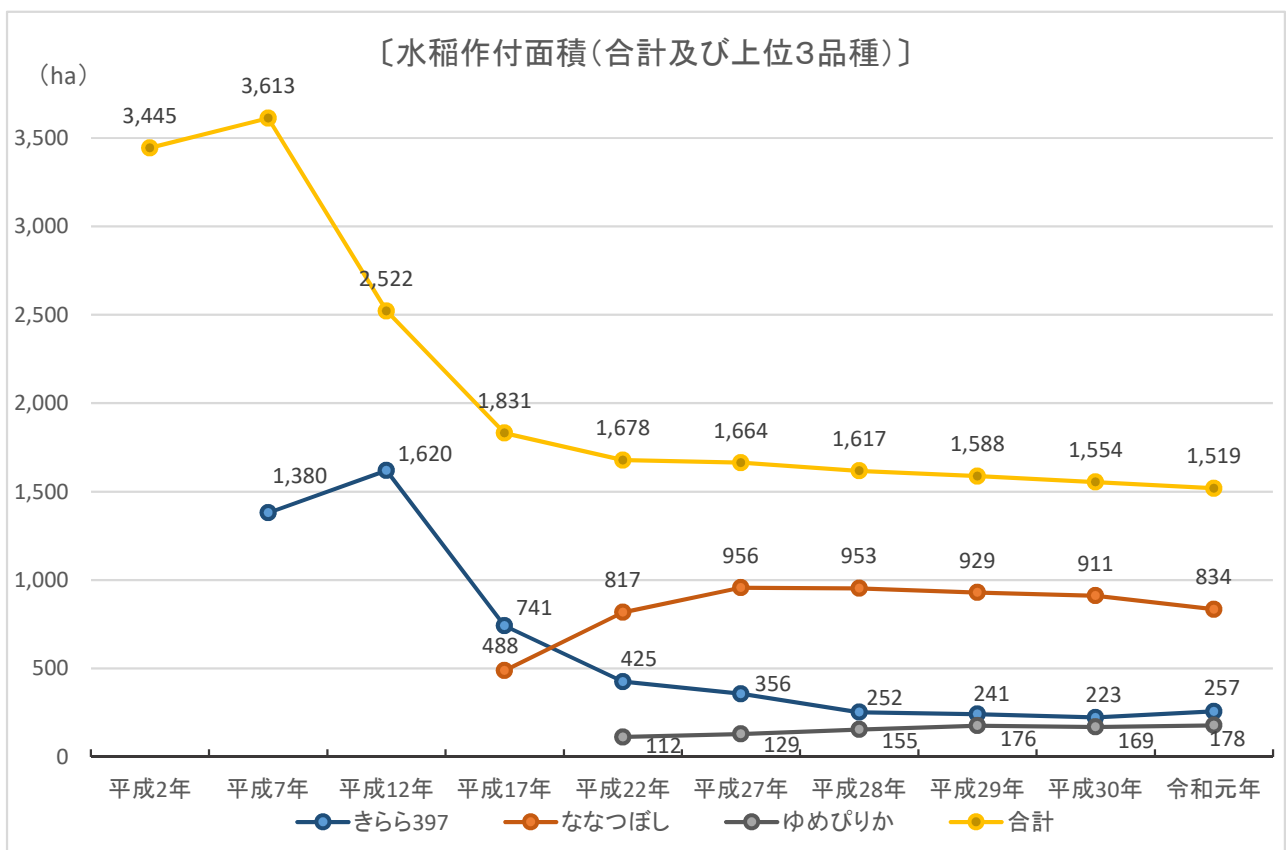
単位: ha

品種 年産	きらら397		ななつぼし		ほしのゆめ		おぼろづき		ゆめぴりか		あやひめ		その他		合計
平成2年															3,445
平成7年	1,380	38%											2,233	62%	3,613
平成12年	1,620	64%			545	22%							357	14%	2,522
平成17年	741	40%	488	27%	411	22%					91	5%	101	6%	1,831
平成22年	425	25%	817	49%	18	1%	122	7%	112	7%	13	1%	171	10%	1,678
平成27年	356	21%	956	57%	12	1%	135	8%	129	8%	14	1%	61	4%	1,664
平成28年	252	16%	953	59%	7	0%	113	7%	155	10%	12	1%	126	8%	1,617
平成29年	241	15%	929	59%	7	0%	90	6%	176	11%	4	0%	140	9%	1,588
平成30年	223	14%	911	59%	6	0%	91	6%	169	11%	5	0%	149	10%	1,554
令和元年	257	17%	834	55%	5	0%	87	6%	178	12%	0	0%	158	10%	1,519

資料: 町農務課

※加工用米及び新規需要米含む。

※空白はデータなし



当別町の水稲作付面積は、平成に入り、平成6年3,993haのピークから減少に転じ、令和元年は、1,519haとなっています。

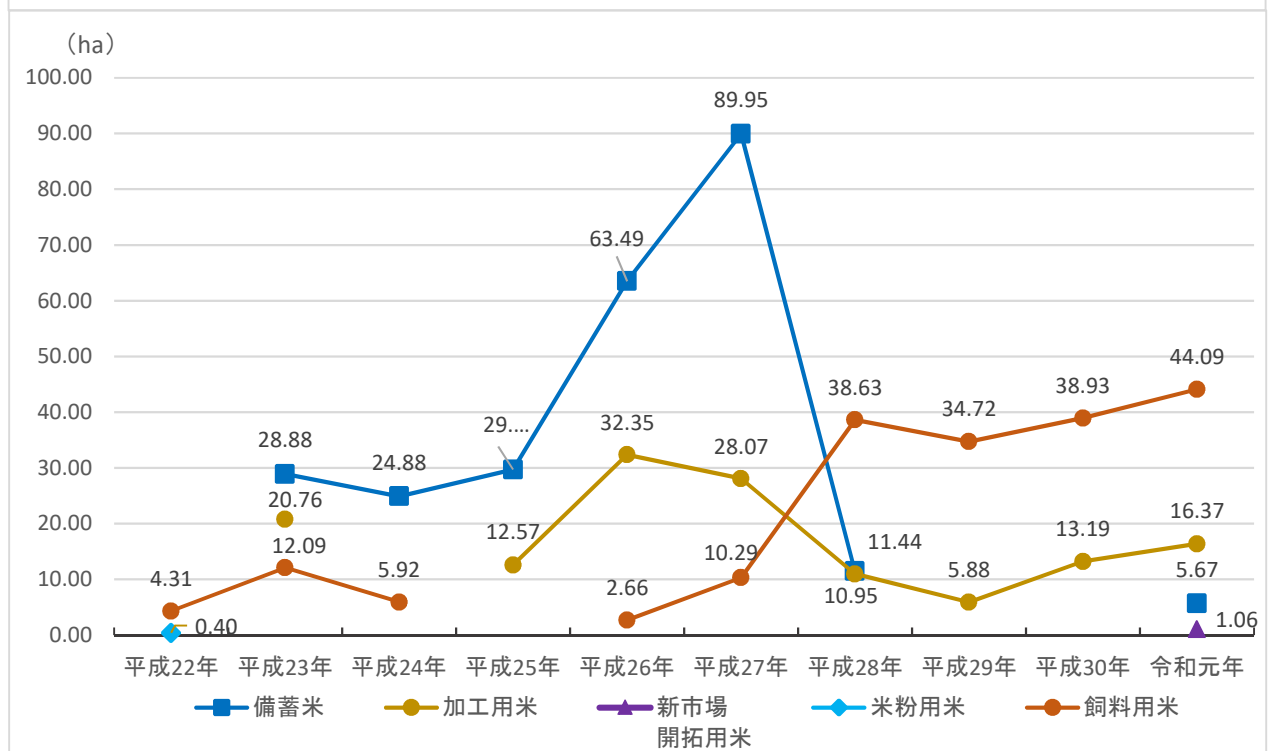
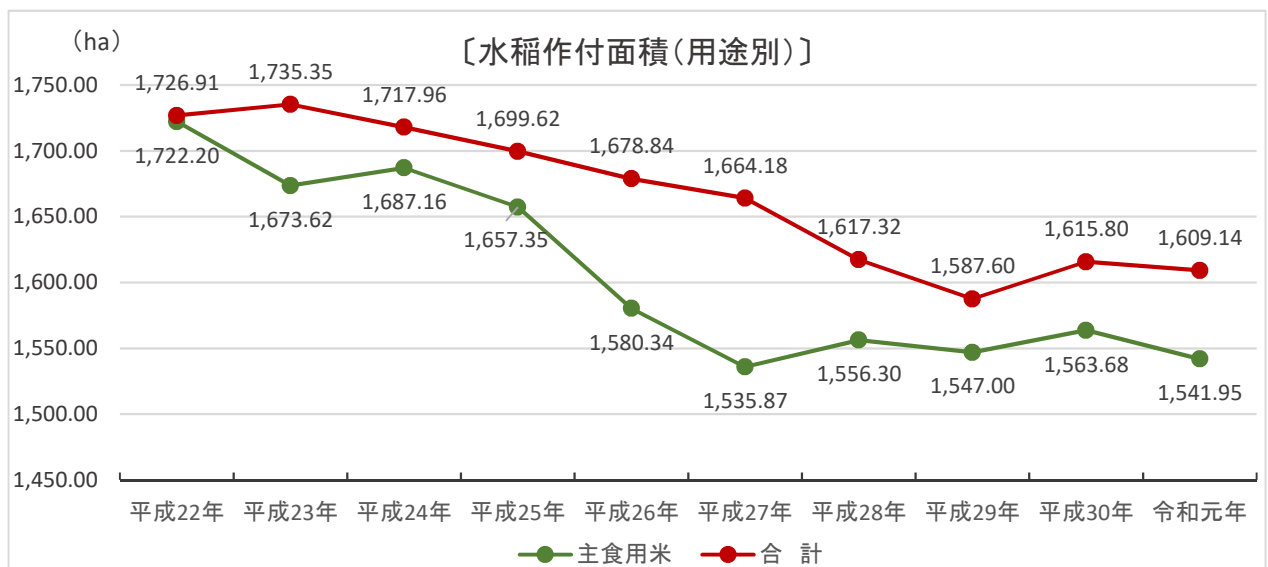
4 水稻作付面積

(2) 用途別

単位: ha

年産 区分	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
主食用米	1,722.20	1,673.62	1,687.16	1,657.35	1,580.34	1,535.87	1,556.30	1,547.00	1,563.68	1,541.95
備蓄米		28.88	24.88	29.70	63.49	89.95	11.44			5.67
加工用米		20.76		12.57	32.35	28.07	10.95	5.88	13.19	16.37
新市場 開拓用米										1.06
米粉用米	0.40									
飼料用米	4.31	12.09	5.92		2.66	10.29	38.63	34.72	38.93	44.09
合計	1,726.91	1,735.35	1,717.96	1,699.62	1,678.84	1,664.18	1,617.32	1,587.60	1,615.80	1,609.14

資料: 町農務課 ※空白は、作付面積無し

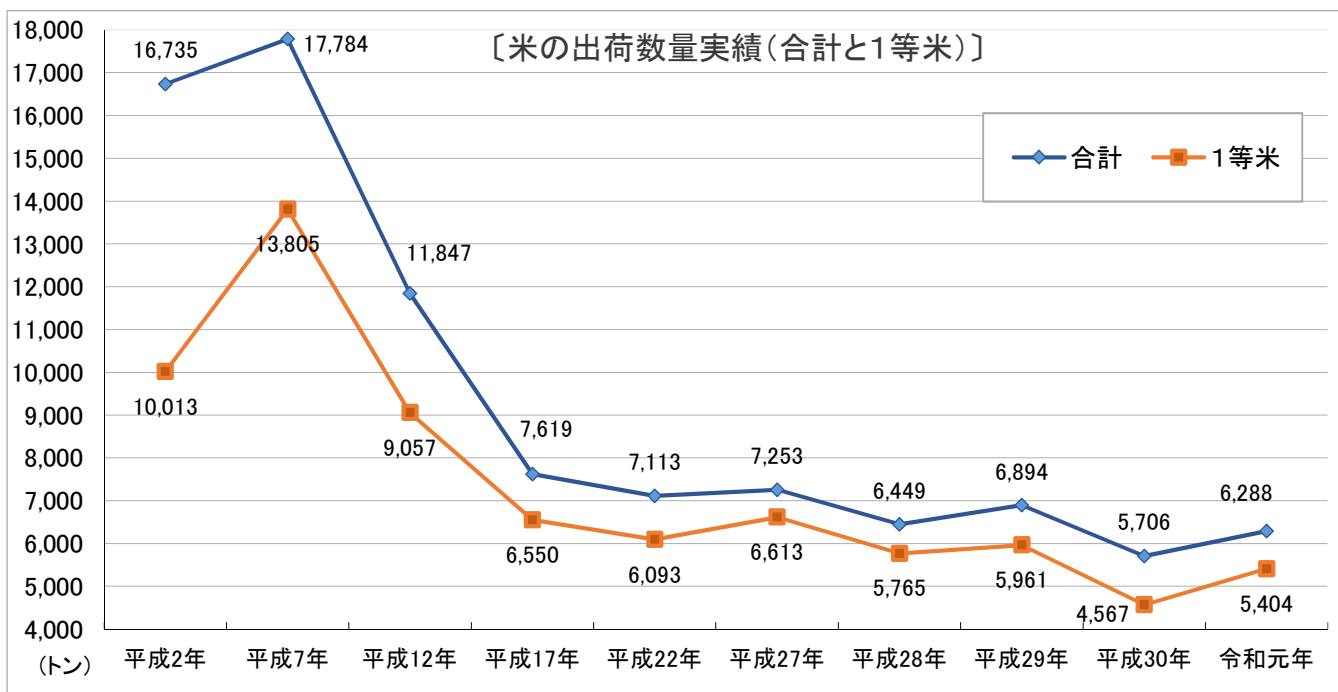


5 米の等級別出荷数量実績

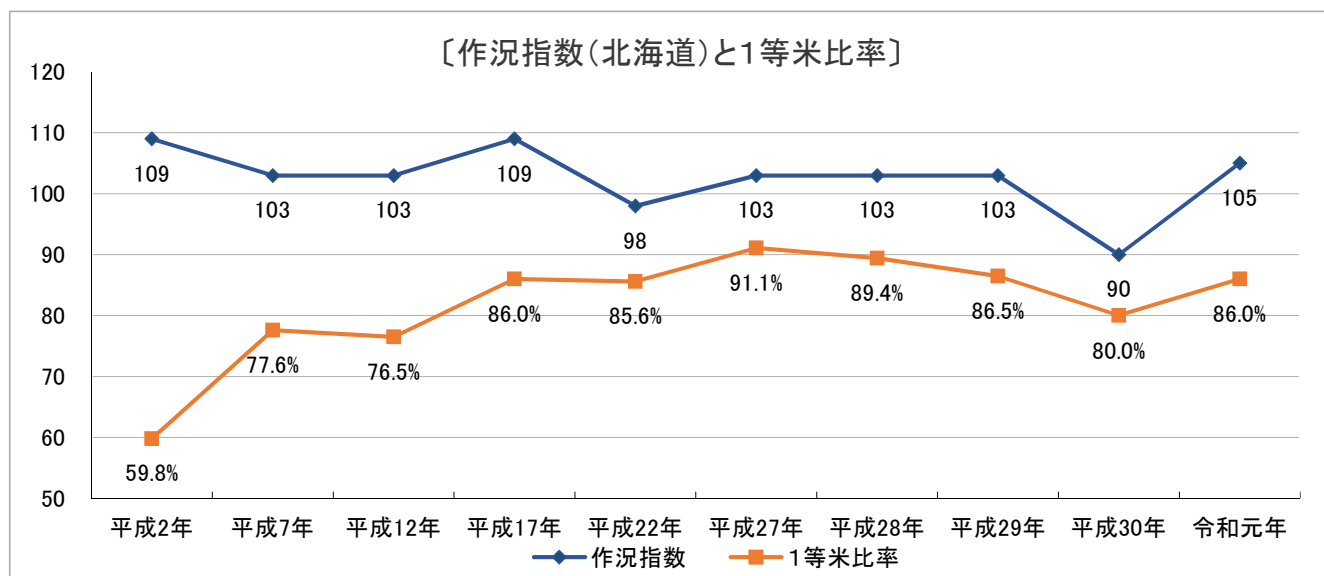
単位:t

年産	区分	作況指数 (北海道)	1等米		2等		3等		規格外		合計
			数量	比率	数量	比率	数量	比率	数量	比率	
平成2年		109	10,013	59.8%	6,535	39.0%	187	1.1%	0	0.0%	16,735
平成7年		103	13,805	77.6%	3,889	21.9%	84	0.5%	6	0.0%	17,784
平成12年		103	9,057	76.5%	152	1.3%	17	0.1%	2,621	22.1%	11,847
平成17年		109	6,550	86.0%	528	6.9%	541	7.1%	0	0.0%	7,619
平成22年		98	6,093	85.6%	145	2.1%	0	0.0%	875	12.3%	7,113
平成27年		103	6,613	91.1%	98	1.4%	3	0.1%	539	7.4%	7,253
平成28年		103	5,765	89.4%	34	0.5%	0	0.0%	650	10.1%	6,449
平成29年		103	5,961	86.5%	128	1.9%	0	0.0%	805	11.6%	6,894
平成30年		90	4,567	80.0%	146	2.6%	8	0.1%	985	17.3%	5,706
令和元年		105	5,404	86.0%	128	2.0%	21	0.3%	735	11.7%	6,288

資料: 町農務課



当別町産米出荷数量は、作付面積の減少とともに平成2年からほぼ半減しています。



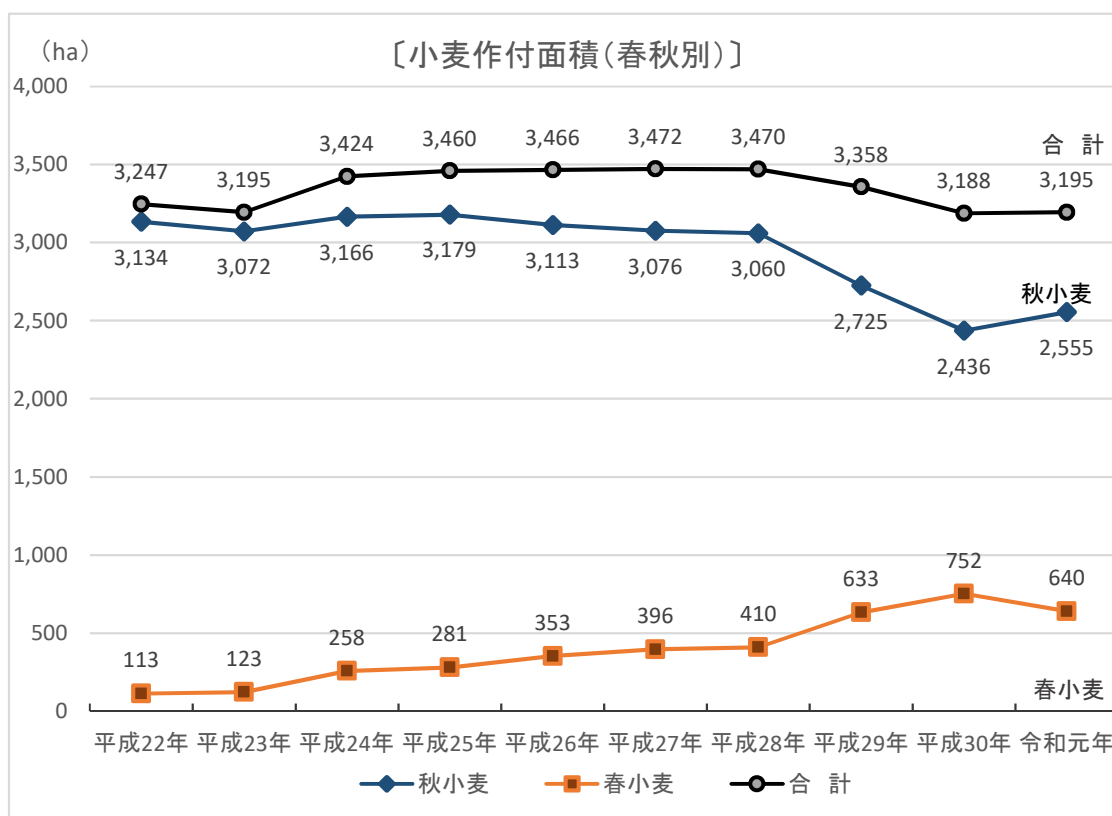
当別町産米の1等米比率は、平成17年産以降ほぼ90%前後で推移しています。

6 小麦作付面積(春秋別)

単位: ha

年産	区分	秋小麦	春小麦	合計
平成22年		3,134	113	3,247
平成23年		3,072	123	3,195
平成24年		3,166	258	3,424
平成25年		3,179	281	3,460
平成26年		3,113	353	3,466
平成27年		3,076	396	3,472
平成28年		3,060	410	3,470
平成29年		2,725	633	3,358
平成30年		2,436	752	3,188
令和元年		2,555	640	3,195

資料: 町農務課



当別町の小麦作付面積は、平成28年から輪作体系推進の取り組みを行い、平成29年は一旦減少し、令和元年までの間はほぼ横ばいとなっています。

7 転作作物(野菜部門)の作付面積

単位:ha

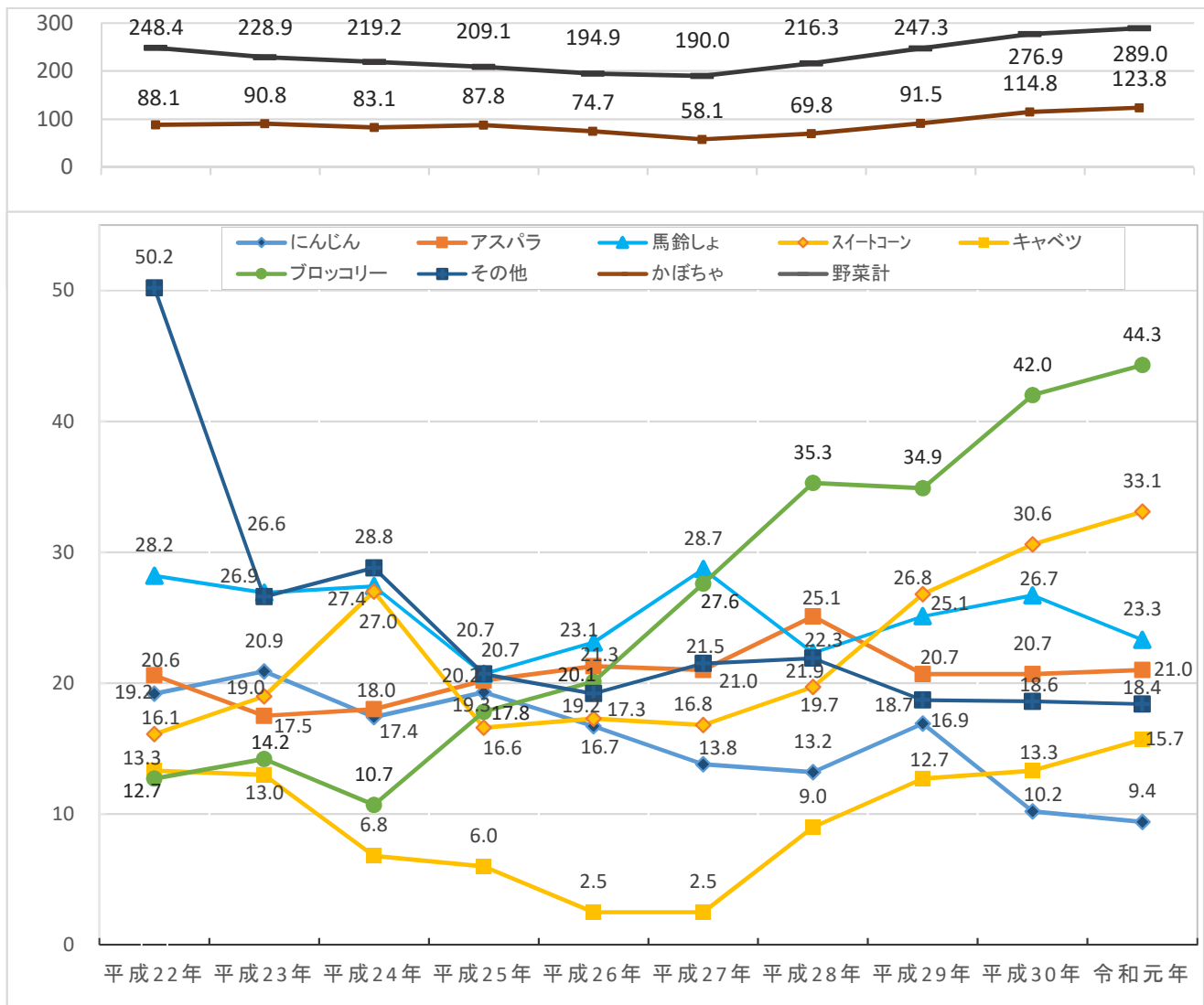
種類 年度	野菜計								
	かぼちゃ	にんじん	アスパラ	馬鈴しょ	スイートコーン	キャベツ	ブロッコリー	その他	
平成22年	88.1	19.2	20.6	28.2	16.1	13.3	12.7	50.2	248.4
平成23年	90.8	20.9	17.5	26.9	19.0	13.0	14.2	26.6	228.9
平成24年	83.1	17.4	18.0	27.4	27.0	6.8	10.7	28.8	219.2
平成25年	87.8	19.3	20.2	20.7	16.6	6.0	17.8	20.7	209.1
平成26年	74.7	16.7	21.3	23.1	17.3	2.5	20.1	19.2	194.9
平成27年	58.1	13.8	21.0	28.7	16.8	2.5	27.6	21.5	190.0
平成28年	69.8	13.2	25.1	22.3	19.7	9.0	35.3	21.9	216.3
平成29年	91.5	16.9	20.7	25.1	26.8	12.7	34.9	18.7	247.3
平成30年	114.8	10.2	20.7	26.7	30.6	13.3	42.0	18.6	276.9
令和元年	123.8	9.4	21.0	23.3	33.1	15.7	44.3	18.4	289.0

資料:町農務課

※平成29年度から、スイートコーンに加工用スイートコーンを含む。

〔転作作物(野菜部門)作付面積の推移〕

単位:ha



種別では、カボチャ、ブロッコリー、キャベツ、スイートコーンが増加し、にんじんが減少しています。

また、馬鈴しょ、アスパラガスは、ほぼ横ばいとなっています。

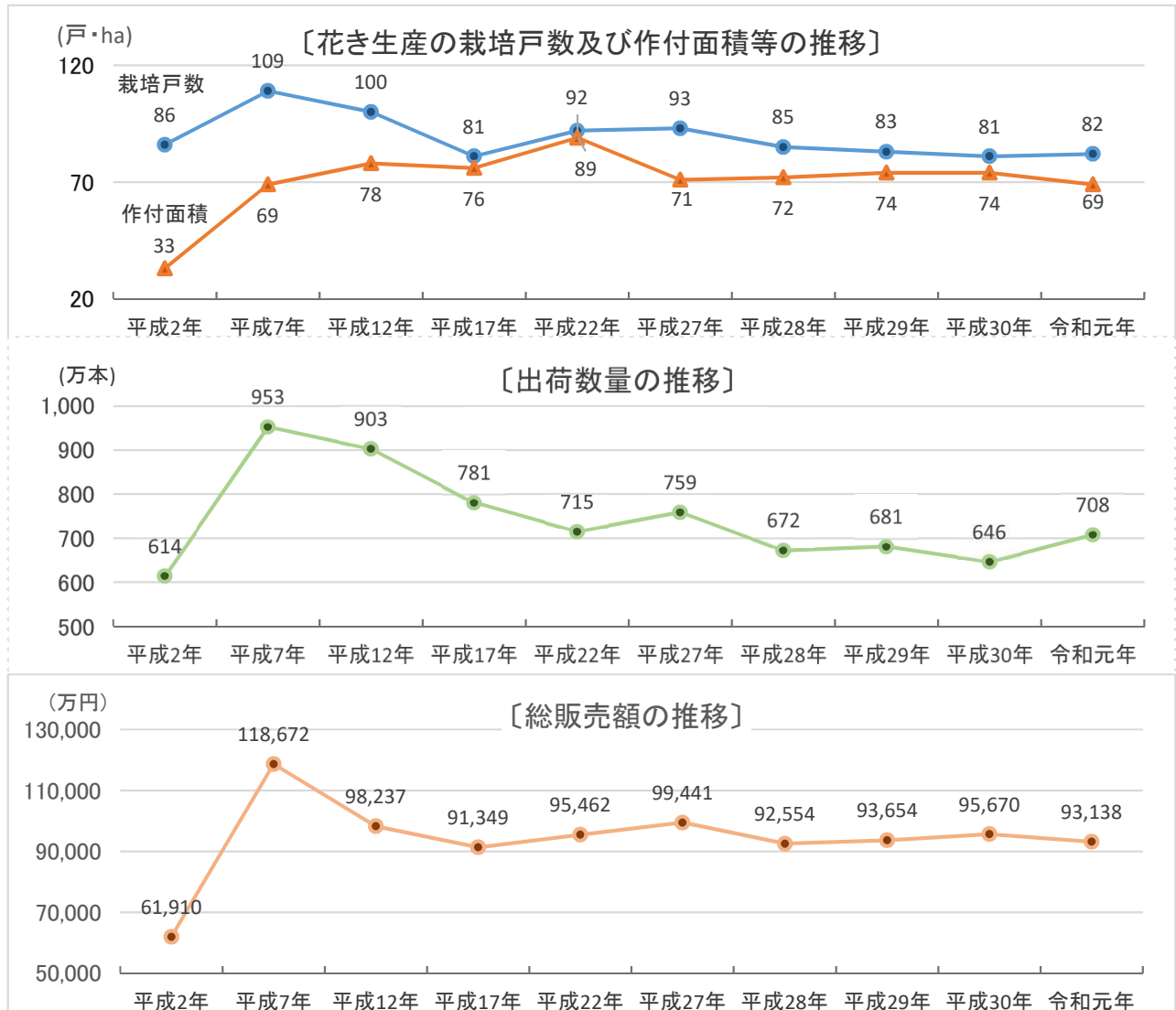
平成29年度よりスイートコーンに加工用スイートコーンを含む。

8 花き生産の概要

区分	年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
栽培戸数(戸)		86	109	100	81	92	93	85	83	81	82
作付面積(ha)		33	69	78	76	89	71	72	74	74	69
出荷数量(万本)		614	953	903	781	715	759	672	681	646	708
総販売額(万円)		61,910	118,672	98,237	91,349	95,462	99,441	92,554	93,654	95,670	93,138

資料:町農務課

※平成27年から花き作付面積の算定方法が変更となっています。



栽培戸数は、平成28年以降横ばいとなっています。

出荷数量、総販売額ともこの10年間ほぼ横ばいの傾向となっています。

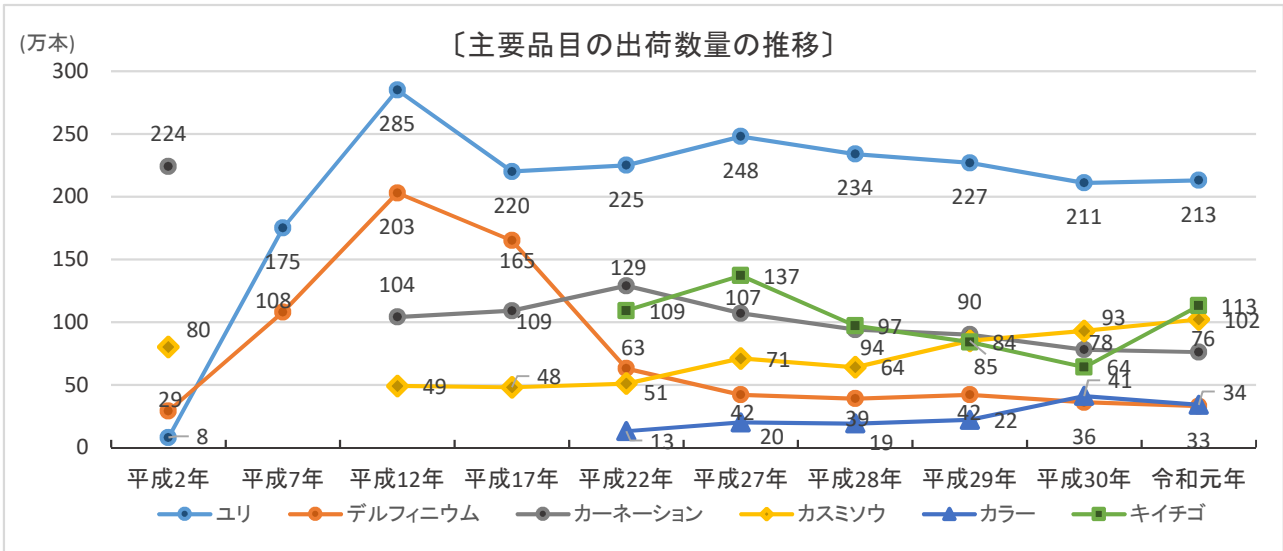
(1) 主要品目の出荷数量

単位:万本

区分	年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
ユリ		8	175	285	220	225	248	234	227	211	213
デルフィニウム		29	108	203	165	63	42	39	42	36	33
カーネーション		224		104	109	129	107	94	90	78	76
カスミソウ		80		49	48	51	71	64	85	93	102
カラー						13	20	19	22	41	34
キイチゴ						109	137	97	84	64	113

資料:町農務課

※空白は、データなし



主要品目のうち、近年カスミソウ、カラーは増加傾向となっています。カーネーション、デルフィニウムは減少傾向となっています。

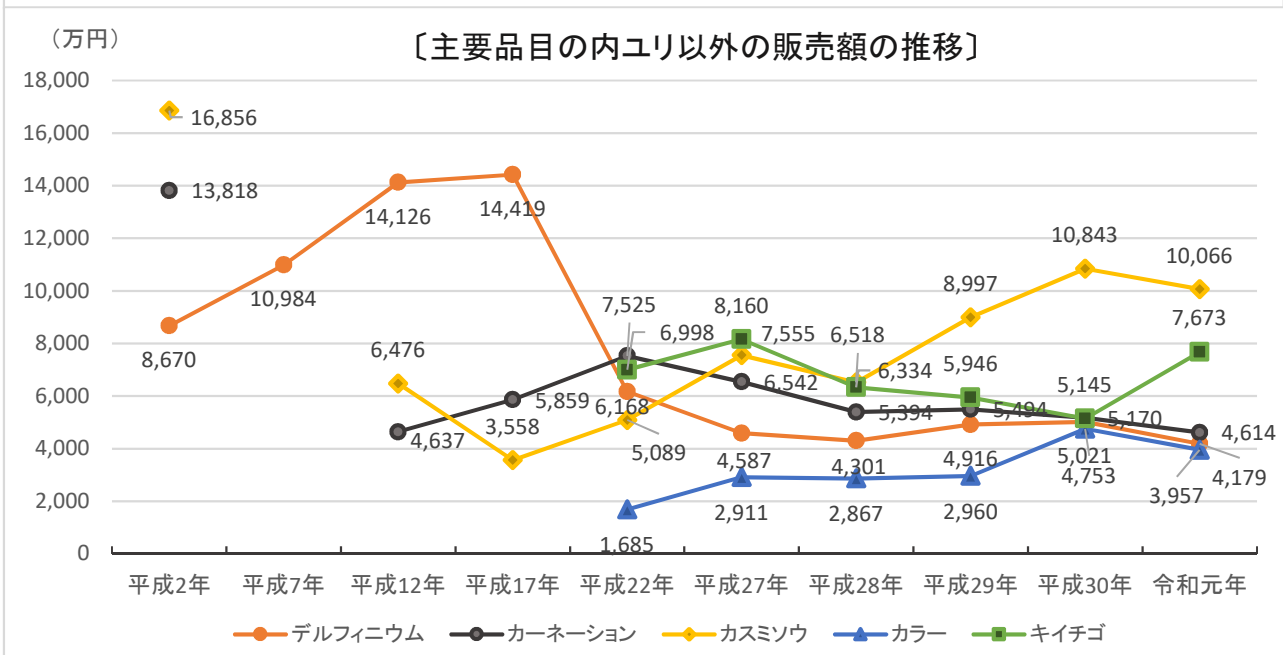
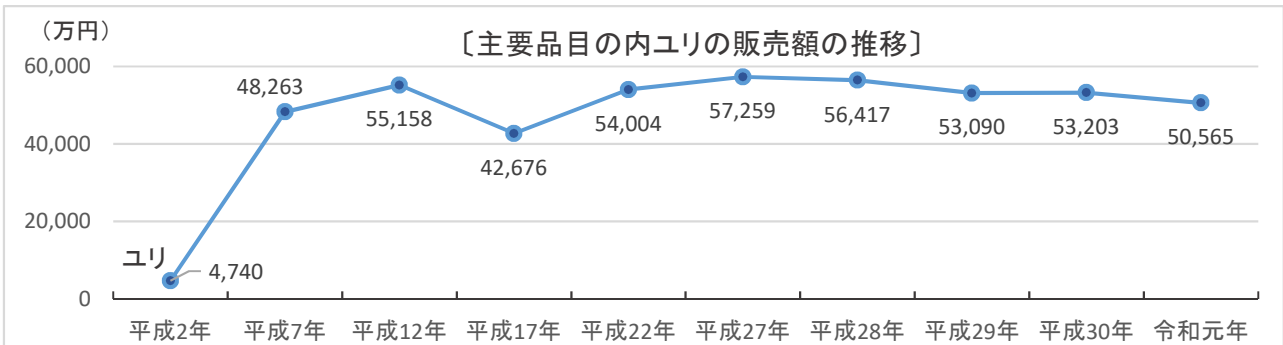
(2) 主要品目の販売額

単位：万円

区分	年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
ユリ		4,740	48,263	55,158	42,676	54,004	57,259	56,417	53,090	53,203	50,565
デルフィニウム		8,670	10,984	14,126	14,419	6,168	4,587	4,301	4,916	5,021	4,179
カーネーション		13,818		4,637	5,859	7,525	6,542	5,394	5,494	5,170	4,614
カスミソウ		16,856		6,476	3,558	5,089	7,555	6,518	8,997	10,843	10,066
カラー					1,685	2,911	2,867	2,960	2,960	4,753	3,957
キイチゴ					6,998	8,160	6,334	5,946	5,946	5,145	7,673

資料：町農務課

※空白は、データなし



ユリの販売額は、平成22年以降5億円以上で推移しています。

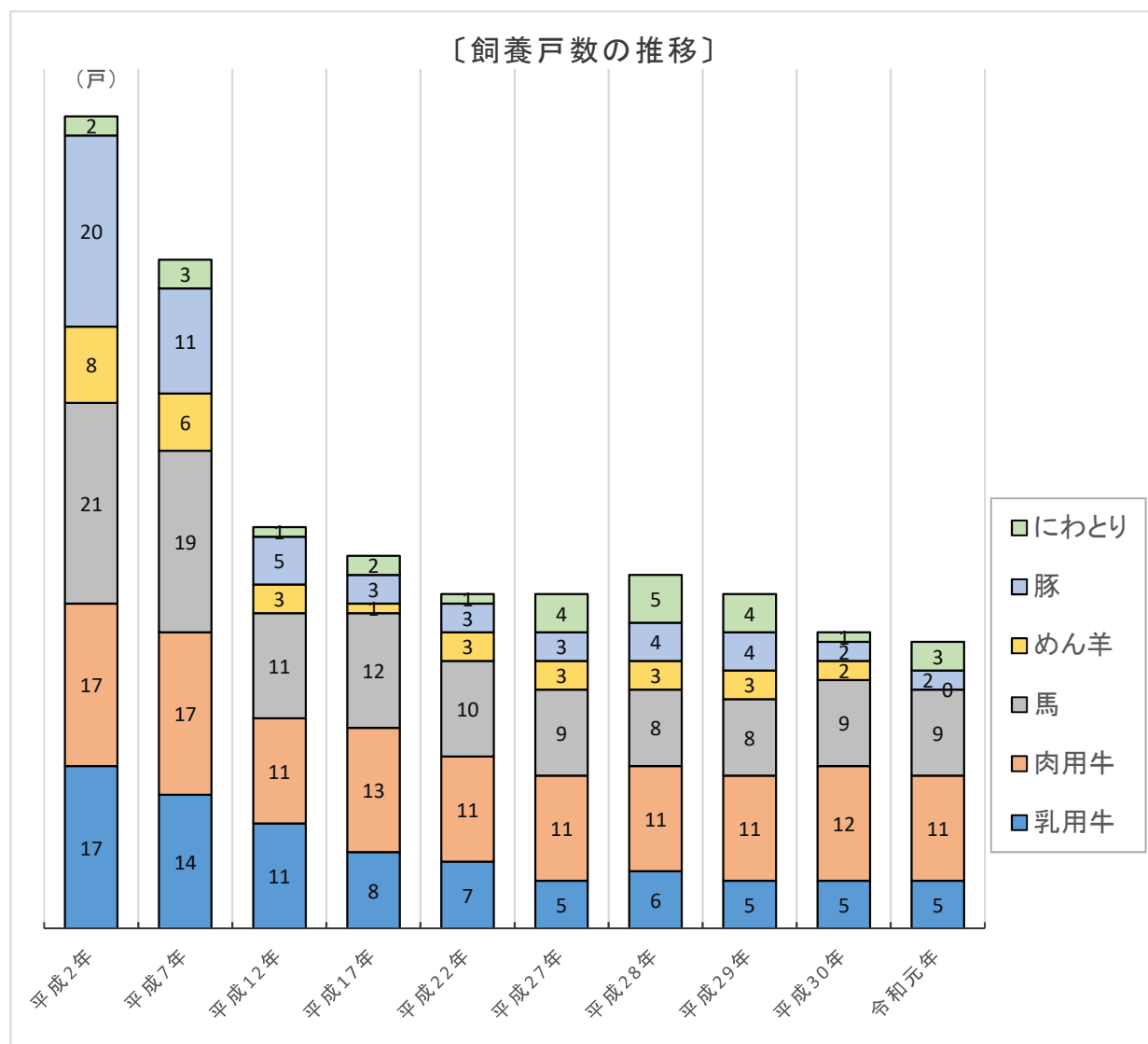
9 家畜飼養状況

(1) 飼養戸数

単位：戸

年度 区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
乳用牛	17	14	11	8	7	5	6	5	5	5
肉用牛	17	17	11	13	11	11	11	11	12	11
馬	21	19	11	12	10	9	8	8	9	9
めん羊	8	6	3	1	3	3	3	3	2	0
豚	20	11	5	3	3	3	4	4	2	2
にわとり	2	3	1	2	1	4	5	4	1	3
延べ	85	70	42	39	35	35	37	35	31	30

資料：町農務課



当別町の飼養戸数は、近年40戸弱から、30数戸に減少傾向となっています。

乳用牛、肉用牛の飼養戸数は、ここ10年横ばい傾向となっています。

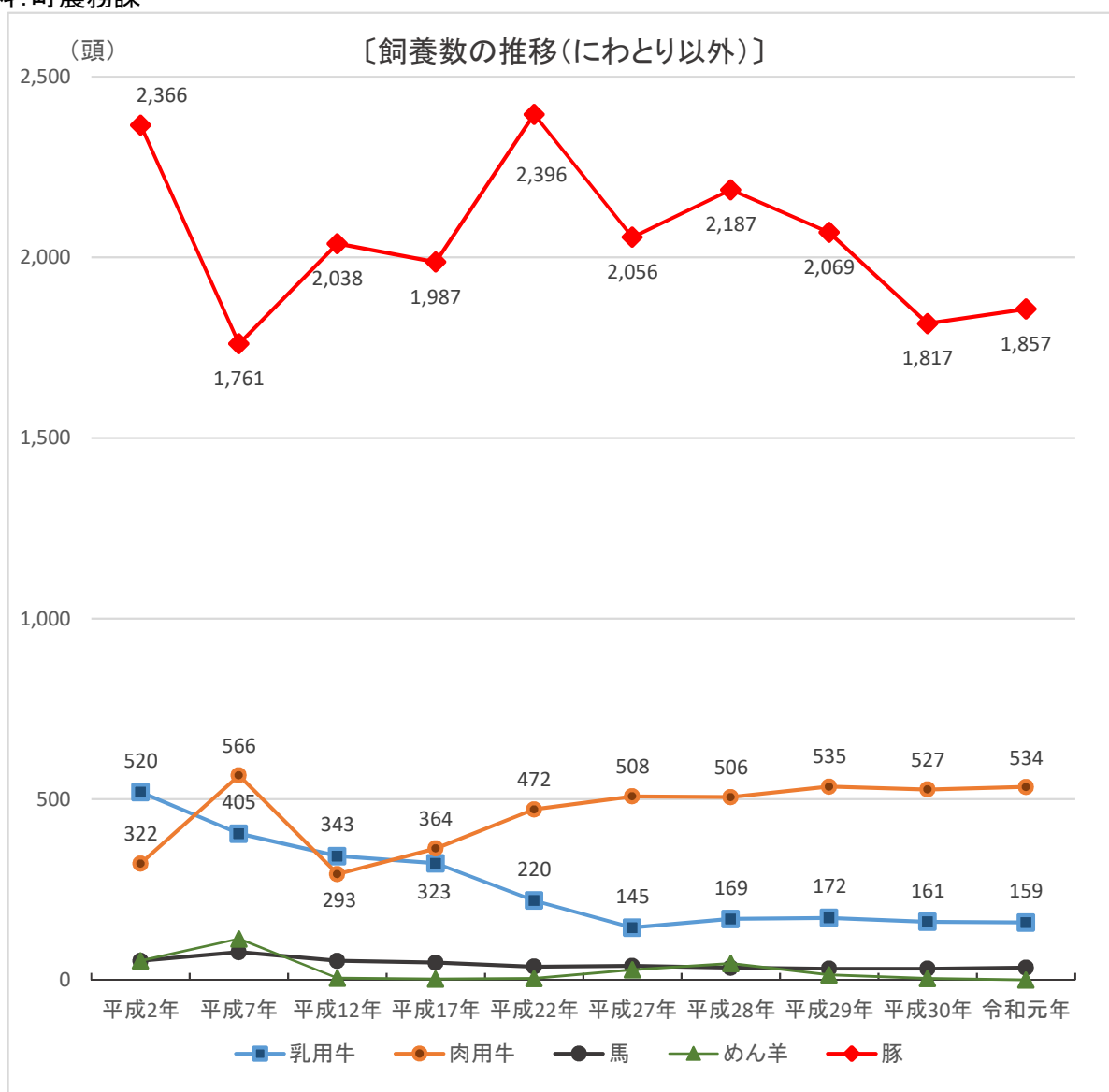
めん羊の飼養戸数は、令和2年ゼロとなっています。

(2) 飼養数

単位:頭・羽

年度 区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
乳用牛	520	405	343	323	220	145	169	172	161	159
肉用牛	322	566	293	364	472	508	506	535	527	534
馬	53	77	53	48	37	39	34	31	31	34
めん羊	53	114	5	3	4	28	46	14	4	0
豚	2,366	1,761	2,038	1,987	2,396	2,056	2,187	2,069	1,817	1,857
にわとり	18,000	30,200	20,000	15,004	200	37	68	1,331	2,000	2,506

資料:町農務課



肉用牛の飼養数は、近年増加傾向となっています。
 豚の飼養数は、平成23年以來、微減傾向となっています。
 乳用牛の飼養数は、減少傾向から横ばいに推移しています。

10 農業産出額の状況(農林水産省推計値)

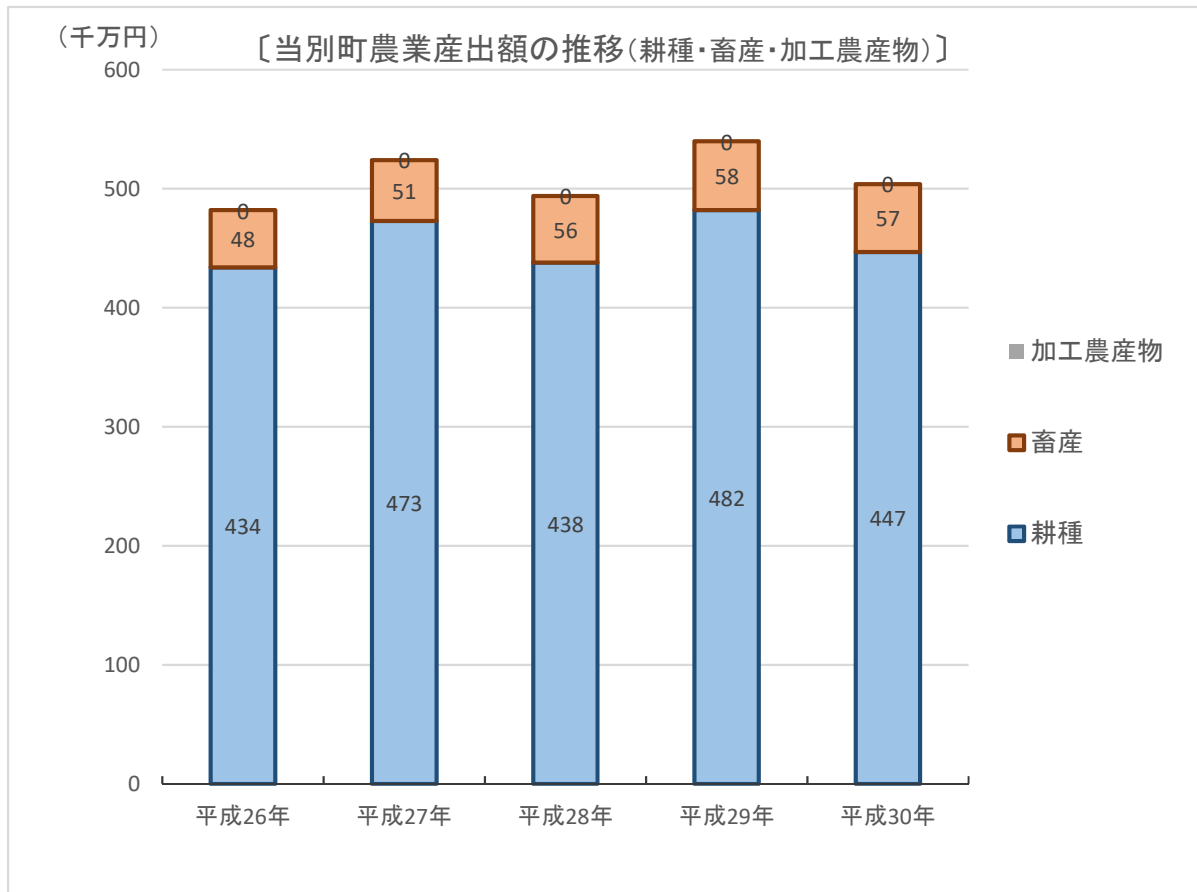
(1) 耕種、畜産、加工農産物

単位:千万円

区分	年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
耕種	米	172	179	180	188	169
	麦類	47	69	47	59	45
	雑穀	0	0	0	0	0
	豆類	27	28	20	29	28
	いも類	6	7	8	8	6
	野菜	68	75	72	70	75
	果実	1	1	1	1	1
	花き	106	107	104	118	115
	工芸農作物	4	4	3	6	6
	その他作物	3	3	3	3	2
	畜産	肉用牛	11	13	16	16
乳用牛		20	22	24	25	25
豚		17	16	16	17	16
鶏		-	-	-	-	-
その他畜産物		-	-	-	-	-
加工農産物		-	-	-	-	-
合計		482	522	491	539	504

資料:農林水産省

※表示単位未満四捨五入のため、内訳の合計が計と一致しない場合があります。



11 鳥獣被害の状況

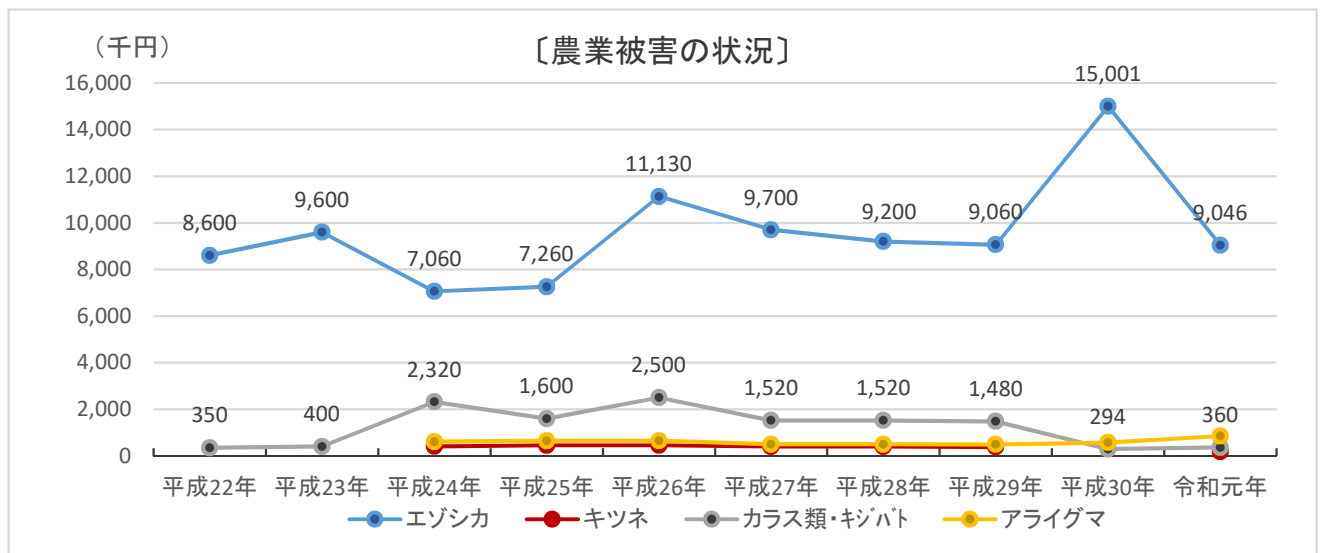
(1) 農業被害の状況

単位：千円

区分	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
エゾシカ	8,600	9,600	7,060	7,260	11,130	9,700	9,200	9,060	15,001	9,046
キツネ			410	450	450	400	400	380		184
カラス類・キジハト	350	400	2,320	1,600	2,500	1,520	1,520	1,480	294	360
アライグマ			610	650	650	500	500	490	572	848

資料：町農務課

※空白は、確認している被害がありません。



(2) 有害鳥獣の捕獲状況

単位：頭・羽

区分	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
エゾシカ	8	22	63	51	80	122	102	74	63	59
キツネ	24	13	1	8	11	4	3	0	0	0
カラス類・キジハト	16	26	19	15	16	10	0	0	0	0

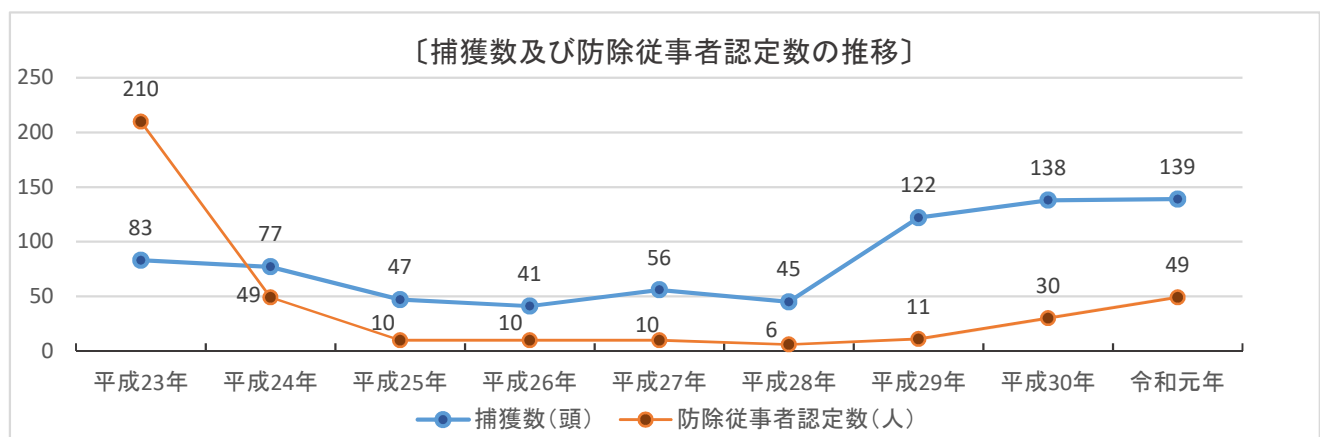
資料：町農務課

※アライグマは、特定外来生物により別掲

(3) アライグマ捕獲数及び特定外来生物防除従事者認定数

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	延べ
捕獲数(頭)	83	77	47	41	56	45	122	138	139	748
防除従事者認定数(人)	210	49	10	10	10	6	11	30	49	385

資料：町農務課



当別町のアライグマ捕獲数は、平成29年度以降100頭を超えています。

アライグマ防除従事者認定数は、捕獲数の増加に合わせて増加傾向となっています。

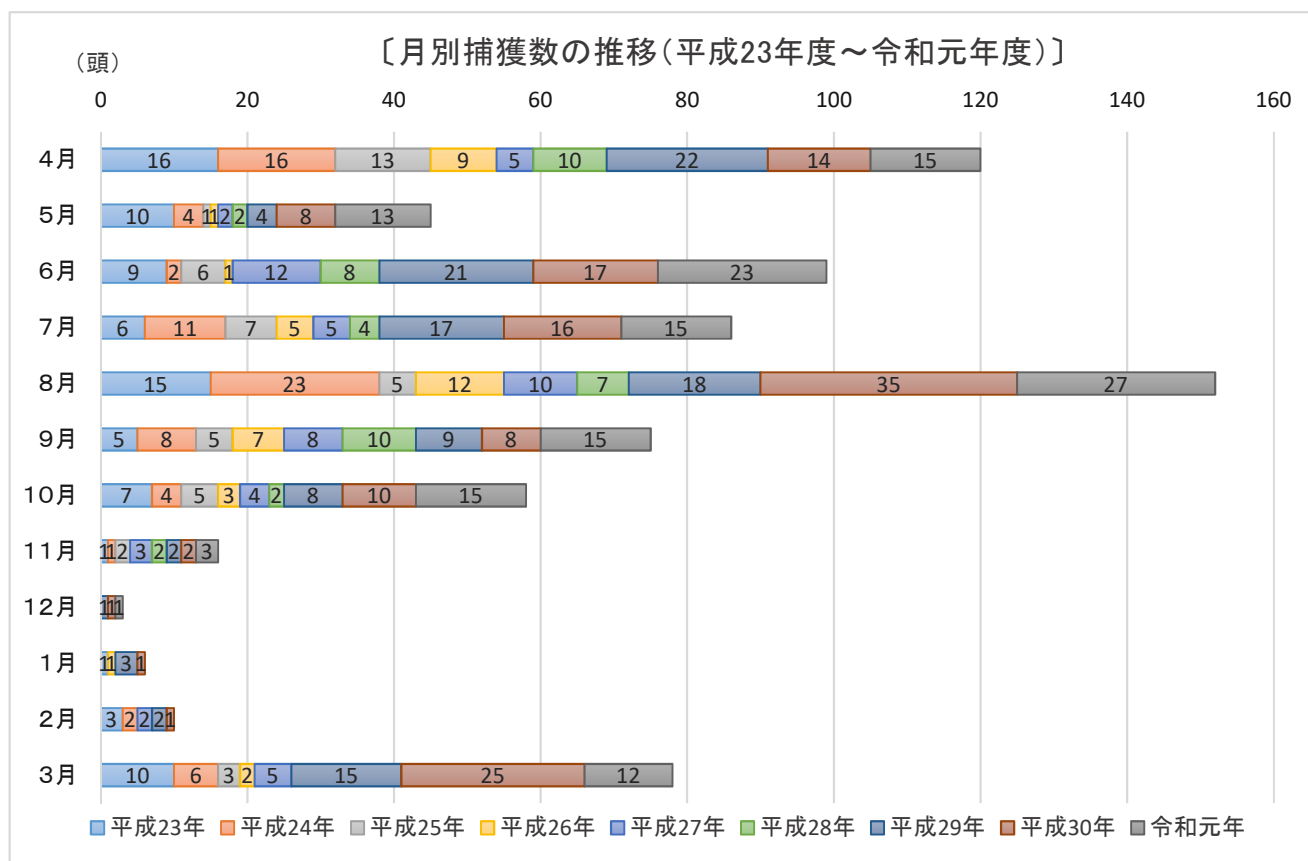
(4)アライグマの月別捕獲数

単位:頭

年度 月	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	延べ
4月	16	16	13	9	5	10	22	14	15	120
5月	10	4	1	1	2	2	4	8	13	45
6月	9	2	6	1	12	8	21	17	23	99
7月	6	11	7	5	5	4	17	16	15	86
8月	15	23	5	12	10	7	18	35	27	152
9月	5	8	5	7	8	10	9	8	15	75
10月	7	4	5	3	4	2	8	10	15	58
11月	1	1	2		3	2	2	2	3	16
12月							1	1	1	3
1月	1			1			3	1		6
2月	3	2			2		2	1		10
3月	10	6	3	2	5		15	25	12	78
計	83	77	47	41	56	45	122	138	139	748

資料:町農務課

※空白は捕獲なし



月別の捕獲状況は、8月が一番多く、次いで4月が多くなっています。

捕獲数が多い時期は、3月から9月となっています。

12 民有林資源構成表

単位: ha

区 分		植栽～15年	16年～30年	31年～50年	51年～	無立木地	総 数
人工林	カラマツ	11.57	14.91	4.40	217.79	0	248.67
	針葉樹 トドマツ	138.80	127.86	1,194.57	951.79	0	2,413.02
	針葉樹 その他	79.26	125.42	25.91	15.93	0	246.52
	針葉樹 計	229.63	268.19	1,224.88	1,185.51	0	2,908.21
	広葉樹	54.13	27.54	7.83	8.77	0	98.27
天 然 林		0.13	170.79	937.87	9,258.94	0	10,367.73
立 木 地 計		283.89	466.52	2,170.58	10,453.22	0	13,374.21
合 計		283.89	466.52	2,170.58	10,453.22	239.60	13,613.81

無立木地内訳

区 分		面 積	単位: ha
伐採跡地	天伐跡	39.26	
	人伐跡	41.33	
	計	80.59	
未立木地		159.01	

資料:平成30年度北海道林業統計 ※令和2年3月現在

13 森林面積及び蓄積

所有区分	面 積 (ha)					蓄 積 (千m ³)		
	計	天然林	人工林	無立木地	その他	計	針葉樹	広葉樹
森林管理局所管国有林	(58)		(49)		(9)	(7)	(4)	(3)
	2,556	1,531	936	—	89	320	166	155
そ の 他 国 有 林	15	15	—	—	—	0	—	0
道 有 林	10,350	7,395	2,895	60	—	1,266	765	501
市 町 村 有 林	1,507	1,094	404	9	—	204	109	95
私 有 林 等	12,107	9,147	2,753	207	—	1,133	498	634
計	26,535	19,181	6,988	277	89	2,923	1,538	1,385

資料:平成30年度北海道林業統計

※ 国有林の()は官行造林地で内数である。

※ 単位未満を四捨五入して表示しているため、総数と内数の計が一致しない場合があります。

当別町経済部農務課

〒061 - 0292 北海道石狩郡当別町白樺町 57 番地 3

TEL : (0133) 23 - 2330 (代表)

農務係 (直通) (0133) 23 - 3091 (内線 324・325)

耕地係 (直通) (0133) 23 - 3096 (内線 326)

当別町経済部エネルギー推進室

〒061 - 0292 北海道石狩郡当別町白樺町 58 番地 9

林政係 (直通) (0133) 27 - 5089 (内線 343)